

聴覚障がいについて知ろう



聴覚障がいとは…

「聞くこと」についての障がいです。

先天的にまったくきこえない方、きこえにくい方、後天的に聴力を失った（失聴）方、きこえにくくなった（難聴）方など障がいの程度や状態は様々であり、必要とされる配慮も異なります。

聴覚障がいの特性は？

● ろう

聴覚障がいのある方のうち、手話でコミュニケーションを取って日常生活を送る方々です。

● 中途失聴

聴覚を活用していた方が、事故や病気などにより、後天的に聴力を失った場合のことをいいます。

● 難聴

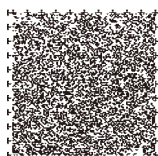
周囲の状況や音質などにより、人によって聞こえ方が違い、音や言葉が聞こえにくい障がいです。

こんなことに困っています…

● 緊急放送や火災報知器、車のクラクションの音が聞こえず、危険な目にあうことがあります。

● 外見からは分かりにくい障がいのため、周囲の方に気付いてもらえないことがあります。

● 会話ができないことで、周りとは良好な人間関係が作れないこと、町内会や近所の方との人間関係に困っています。



● 補聴器を使用しても完全に聞こえるわけではありません。

《音声コード》

理解してほしいこと

◆ 外見では分かりにくい

聴覚障がいでは外見では分かりにくい障がいのため、周囲に気付いてもらえないことがあります。特に難聴者、中途失聴者の場合は発声・発語できる方も多く、「挨拶をしたのに無視された」など誤解されることなどもあります。



◆ コミュニケーションの方法は様々

音声での会話のほか、手話、筆談、口話など、必要とするコミュニケーションの方法には個人差があり、これらの複数を組み合わせてコミュニケーションをする方もいます。



手話を学ぶ場所として、手話サークルがあります。

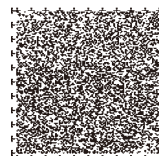
また、手話入門講座がある自治体もあります。詳しくはお住まいの自治体にお問い合わせください。

◆ 会話するときには

会話する準備を整えるため、急に話し始めず、注意を促してから話しましょう。口もの形や表情は、言葉を理解するために大切な情報です。できるだけ目を合わせて話しましょう。

◆ 街の中では

緊急時や災害時もアナウンスなどの音声情報には気付きません。聴覚障がいのある方だと分かった場合には、文字表示やイラスト、手話など見て分かる方法で伝えましょう。



おんせい
【音声コード】